

# 従業員とのかかわり

クリモトでは、「人は企業にとって最も重要な財産である。」という視点に立って、従業員一人ひとりを活かす経営を実践するため、個々の適性や能力等の多様性に応じた施策を実施していきます。

## 人事の重点施策

クリモトグループの事業活動の指針となる、新ビジョンNEXT100、新中期経営基本戦略を実践し、次の100年において持続的成長を実現していくためには、事業活動を支える最も大切な経営資源である“人”を大切に、戦略的に活躍の場を提供していくことが必要となります。

私達はクリモトグループに勤める従業員に対し、「淡輪宣言」でコミットメントした経営課題解決に努めるとともに、新中期経営基本戦略の実現のため、次の取り組みを行っています。

### I. 経営戦略に適合する“人”の確保

経営戦略、事業戦略の実現のため、必要なタイミングに、必要とされるスキル・経験を有した人材の積極的な確保に努めます。

### II. 組織風土を改革する“人”の活性化

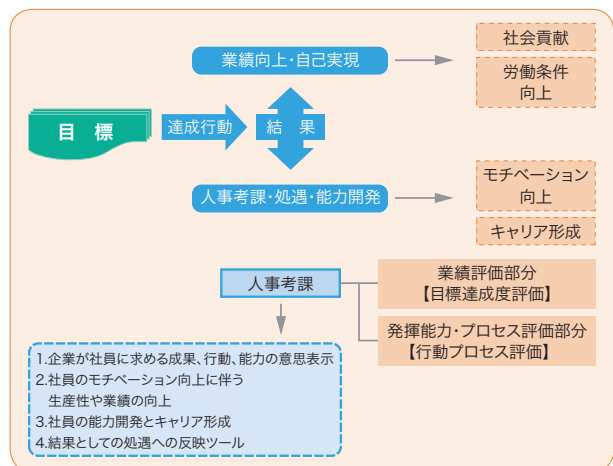
働きがい、やりがいを感じ、能力を最大限に発揮できるための人事諸施策を実践することにより、人と組織の活性化をはかり、「改革・挑戦・創造」を重視した活気に満ち溢れた組織風土の醸成に努めます。

### III. 意識改革・行動改革を実践する“人”の育成

個々の自律を促し、自己の成長を介して、組織貢献に寄与できる人材の育成を行います。

## 公正・透明な人事制度の運営によって、人材の活躍の場を提供していきます。

クリモトでは、公正・透明な人事制度を制定・運営し、活気ある組織風土づくりと社員の意識・行動改革の実現に努めています。その一環として、人事考課に際し、「目標管理制度」を導入しています。目標に向かい衆知を結集し、挑戦していくことで、会社業績向上と共に、全従業員が誇りと働きがいを感じ、仕事を通じて自己実現を達成できるよう運用しています。



## 人権尊重への取り組み

### ■人権についての基本的な考え方

クリモトは「企業行動基準」の中で「人権・人格を尊重した企業活動」を掲げています。これは、従業員の能力を発揮しさらに、その力を結集して大きな組織力を生み出すためには、一人ひとりがお互いの人権を認め合い明るく働きやすい職場環境を整えることが重要です。こうした考え方に基いて、クリモトでは同和問題をはじめ、さまざまな人権研修を行っています。さらに、「大阪市企業人権推進協議会」「大阪同和・人権企業問題連絡会」にも加盟し、社内外においても人権活動を推進しています。

### ■人権研修

7月3日から5日にかけて、2008年度新任基幹職への研修会が開催され、その中で7月3日にはクリモトが「同和・人権問題に取り組むようになった経緯」や「パワーハラスメント」等をテーマとした研修が行われました。

この研修によって、このような人権問題の実現を知り、自分自身の問題や課題に気づききっかけができました。

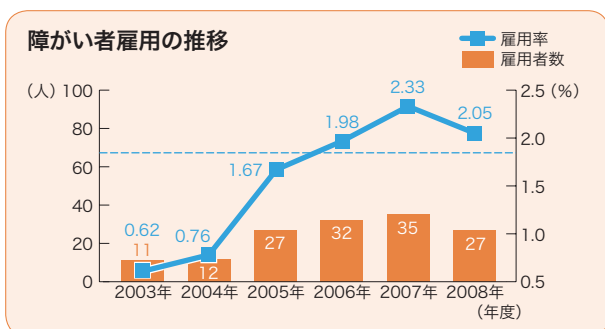


## 働きやすい職場環境づくりを推進します。

### ■障がい者雇用を促進していきます。

2006年から達成している法定雇用率(1.8%)を本年も上回る結果になりました。

今後も引き続き、職場の開拓や受け入れ体制の充実をはかり、障がいを持つ人にとって、働きやすい職場環境づくりを目指して、さまざまな取り組みをしていきたいと考えています。



※毎年6月1日現在(障がい者雇用状況報告書より)

### ■高齢者の雇用を促進していきます。

2006年より、原則希望者全員を再雇用するという「再雇用制度」を実施しています。1年毎の契約更新で、年金の定額部分が受給できる年齢まで更新することが可能となっております。勤務形態としては、フルタイム勤務コース、DE勤務コース、年間変則勤務コース、ゆとり勤務コース等働き方に応じて各種の形態があります。2006年には、58%の再雇用率でしたが、2007年度には、71%の方が同制度を利用して、定年後も各職場にて活躍しています。

	定年退職者数	雇用者数	退職者	再雇用率
2006年	45	26	19	57.7%
2007年	60	43	17	71.7%

※60歳以降の雇用が法定義務化された後の再雇用者推移

### ■女性の活躍を支援促進していきます。

性別により雇用や処遇を区別することなく、職域拡大をはかり、能力を発揮しやすい職場環境を実現することが大切であると考えています。このような思想に基づき、従来より継続的に女性総合職の採用を続けている他、平成16年度に最初の女性基幹職(管理職)を登用いたしました。今後も、女性の活躍とキャリア形成を促進すべく、環境の整備を実施していきたいと考えています。

### ■仕事と家庭の両立を支援推進していきます。

従業員が退職することなく、男女を問わず仕事と子育てを両立させながら、いきいきと働き続けることができるように、育児・介護休業・育児勤務制度などを整備・拡充してきました。さらに、平成20年度から取り組むべき課題として、ワークライフバランスの観点を中心にして、「次世代育成支援対策推進法」に基づいた一般事業主行動計画を策定しました。この計画を推進するために、労使からなる「労使専門部会」を設置し、従業員に対するさらなる支援制度の整備に取り組んでいます。

※※支援制度として以下の制度を実施しています※※

#### 【育児休業中や介護休業時に積立休暇の使用を認めています】

育児休業中の収入の不安を解消するために、有給である積立休暇の使用を認めています。

※積立休暇とは、取得しきれなかった有給休暇を年間10日間で段階に最大55日まで積立可能とするもので、有給休暇と同じ扱いの休暇です。上記の他にも、介護、病欠、子の看護休暇の際にも充当可能です。

#### 【配偶者の出産時における特別休暇を拡充しました】

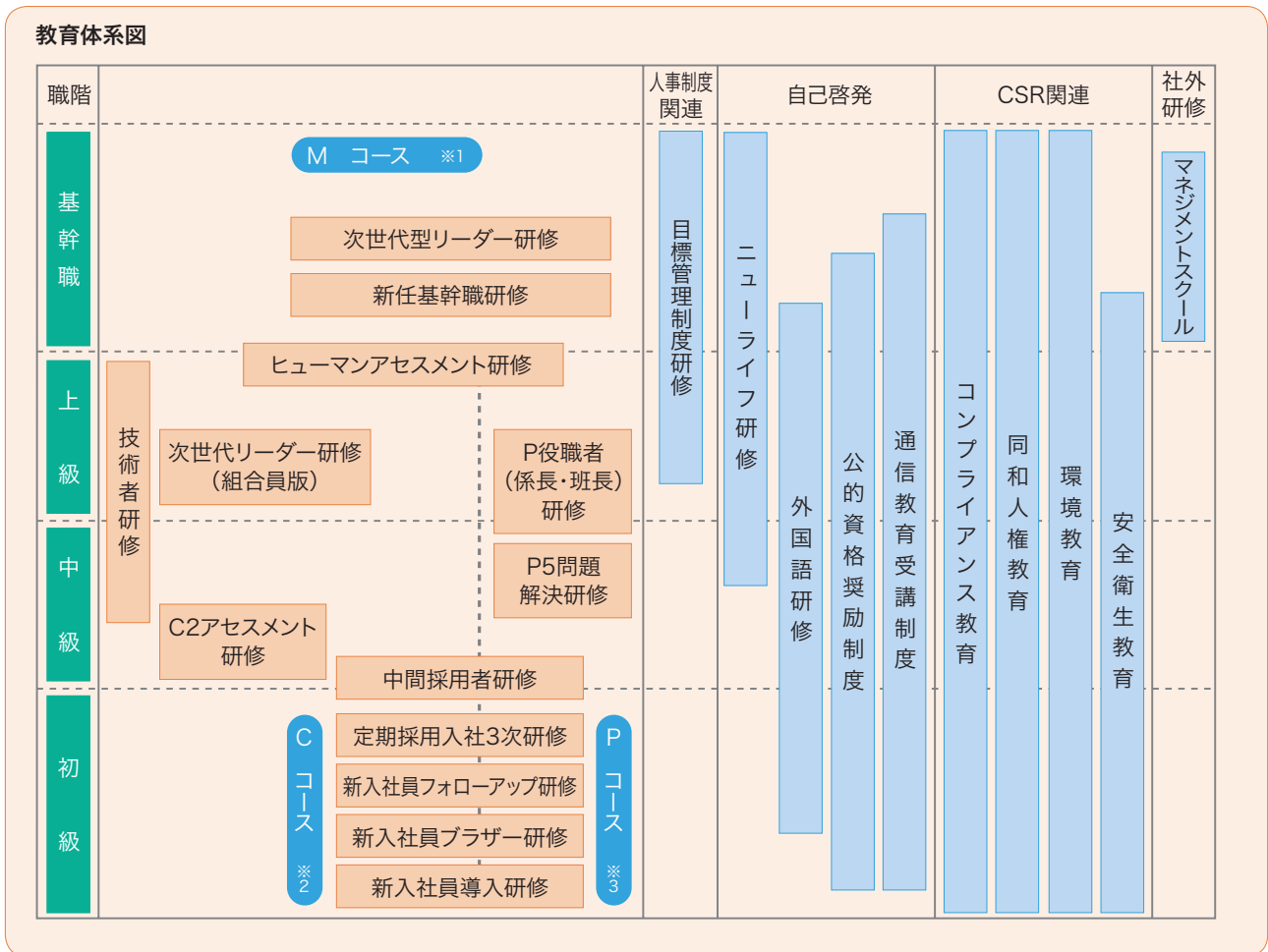
配偶者の出産時における特別休暇が2日であったものを2008年より3日間取得できるように改定しました。

# 従業員とのかかわり

## 自己実現に向け社員の能力開発をサポートします。

当社が求めていく基本人材像は「常に問題意識を持ちながら、自ら前向き主体的に行動することによって職場の課題を解決していく人材」と唱っています。その上で、Mコース、Cコース、Pコースの各職能に因んだ役割を遂行し、組織貢

献につなげるべく下記のような教育体系を敷いて運用しています。そして、それぞれの職能や階層レベルによってキャリアアップをはかり自らの自己実現へと近づいていけるよう、社員の能力開発をサポートしていきます。



※1:Mコース(基幹職) ※2:Cコース(クリエイティブコース) ※3:Pコース(プロフェッショナルコース)

### 新入社員ブラザー制度について

本制度の導入目的は新入社員が会社に入社するにあたって、仕事に付いていけるか、上司や同僚など職場の人間関係がうまく築けるか、生活環境や習慣の変化に対応できるかなどの不安に感じていることを払拭し、職場への受入をスムーズに行うことです。昨今の少子高齢化時代において、新入社員の定着化や早期戦力化は各職場において重要項目となっています。ブラザー制度によるOJTの徹底をはかり新入社員の能力開発を計画的に行うことで人材育成活動を推進しています。



# 対外コミュニケーション活動

## ■「大阪企業家ミュージアム」で展示紹介

大阪商工会議所創立120周年記念事業として、2001年6月に開設された「大阪企業家ミュージアム」。このミュージアムでは、大阪が輩出したすぐれた企業家たちのチャレンジやイノベーションの数々を、その当時の時代背景とともに紹介しています。法曹界を出て、栗本鐵工所を設立するとともに、大阪工業会の基礎を作った創業者・栗本勇之助翁も展示されています。



## ■社内講演会の開催

当社が2007年4月に大阪大学接合科学研究所に開設した寄附研究部門が、開設1年を迎えるにあたり、2008年3月17日にナノ・材料に関する研究発表大会を開催しました。



## ■クリモト創造技術研究所竣工

2007年3月、住吉工場内にクリモト創造技術研究所が完成しました。ここでは、社内・グループ会社との連携はもちろん、各大学や他企業の研究開発機関との連携をはかりながら、最新の研究に取り組んでいきます。さまざまな部門とのコラボレーションが誕生する場となっています。



## ■JICA集団研修実施

2008年7月2日、国際協力機構(JICA)が主催する集団研修「安定供給型水力発電コース」の一環として、当社住吉工場に海外研修生8名が工場見学に来ました。



## ■国内外各種展示会に出展

国内外で開かれた各種展示会に、当社の各事業部やグループ会社が出展しました。昨今、環境問題に対する関心が高まっていることもあり、多くの来場者に当社の地球にやさしい機器、新技術を見ていただきました。

### ●2007年10月30日～11月1日

#### 「第52回 Chem Show 2007」(ニューヨーク)

北米最大の化学関連の展示会。クリモトおよび粉体機器を海外にPR。機械事業部とReadco Kurimoto, LLCが共同出展。



### ●2008年4月16日～18日

#### 「第18回ファインテックジャパン」(東京)

FPD(フラットパネルディスプレイ)業界世界最大の展示会で、日本をはじめ、韓国・台湾・中国など世界各国のパネルメーカーやFPD関連企業とのビジネスの場として定着しています。栗本化成工業出展。



### ●2008年7月2日～4日

#### 「第21回インターフェックスジャパン」(東京)

医薬品・化粧品を製造・研究開発するためのあらゆる機器・システム・技術が一堂に集結するアジア最大の医薬品製造技術展示会です。機械事業部・八洲化工機が出展。



### ●2008年7月12日～25日

#### 「下水道展'08 横浜」(横浜)

下水道に関する、設計・測量、建設、管路資器材、下水処理、維持管理、測定機器など、さまざまな技術が一堂に会します。今回は栗本コンクリート工業と栗本化成工業が共同出展。

